

2018 年度

決算公告

自 2018 年4月1日

至 2019 年3月 31 日

株式会社フォワードワークス

貸借対照表

2019年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	百万円	負債の部	百万円
流動資産	802	流動負債	4,252
現金及び預金	4	買掛金	293
売掛金	311	短期借入金	3,515
貯蔵品	2	未払費用	204
前払費用	23	賞与引当金	35
未収入金	314	前受金	203
前立金	135	諸預り金	1
	13		
固定資産	275	固定負債	9
（有形固定資産）（	14）	退職給付引当金	4
建物及び附属設備	12	資産除去債務	4
工具・器具及び備品	2		
（無形固定資産）（	111）	負債合計	4,261
ソフトウェア	64	純資産の部	
権利金	47	株主資本	△3,184
（投資その他の資産）（	150）	資本金	10
繰延税金資産	150	利益剰余金	△3,194
		その他利益剰余金	△3,194
		繰越利益剰余金	△3,194
		純資産合計	△3,184
資産合計	1,077	負債・純資産合計	1,077

個 別 注 記 表

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準および評価方法

(イ) 貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(イ) 有形固定資産 定額法

(ロ) 無形固定資産 定額法

3. 引当金の計上基準

(イ) 賞与引当金 役員及び従業員への賞与の支給に備えるため、支給見込額にもとづき計上しております。

(ロ) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額にもとづき、計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(イ) 消費税等の会計処理

5. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(表示方法の変更に関する注記)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正（企業会計基準第28号平成30年2月16日）を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

(株主資本等変動計算書関係)

1. 発行済株式及び自己株式に関する事項

(単位：千株)

	前期末株式数	当期末株式数
発行済株式 普通株式	1	1
自己株式 普通株式	-	-
合 計	1	1

2. 配当に関する事項

該当ありません。